


一般質問通告書

次のとおり、質問したいので通告します。

令和5年 2月 8日

山北町議会議長 児玉 洋一 殿

受付番号	第4号	質問議員	11番	堀口恵一 
件名	大胆な発想転換で国道246号線の渋滞解決を			
要 旨				
<p>中日本高速道路株式会社（NEXCO 中日本）は令和4年12月16日、建設中の新東名高速道路新秦野IC～新御殿場IC間（延長25km）について令和9年度の開通予定と発表した。</p> <p>現在、土日や連休など行楽時期には、国道246号線の安戸のトンネルから清水橋交差点付近をボトルネックに、宮地、さらには松田町付近まで渋滞が続き、国道利用者はもとより山北町民も非常に不便を感じている。</p> <p>先の一般質問でもあったが、清水橋交差点付近では、新東名が開通した際にはさらに大きな渋滞が発生すると国からも指摘され、地元でも懸念点となっている。</p> <p>こうした慢性的な交通渋滞に対しては、新東名高速に接続できる新たなバイパス路の接続や、新たな休息地（パーキングエリア等）の設置など、もっと大胆な発想転換が必要と思ひ質問する。</p> <p>1. 令和元年9月定例会で新東名向原展望パーキングエリアについて一般質問を行った際は、「パーキングエリアの間隔」「分合流安全面の懸念」「渋滞助長の懸念」「休息施設の採算性」などを理由に難しいとの答弁であった。しかしあれから4年、当初予定していた開通は遅れ、国道の渋滞がこの先すぐに解消するとは考えにくい。町として国やNEXCO 中日本に対し、設計変更などもっと抜本的な対策の検討や渋滞対策の要望などをしていくべきと思うがどうか。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>				